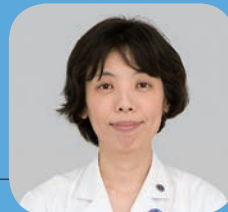


医療安全管理室

Patient Safety Unit

医療安全管理室長

松村 由美



納得のいく医療をめざし 患者さんと医療者をサポートします

「リスクマネジメント」「コンフリクトマネジメント」「クライシスマネジメント」の3つの活動に主に取り組んでいる。

- ① リスクマネジメント: リスクの認識と対策立案、モニター・インシデント報告の分析、インシデント報告から学ぶ、学生やスタッフに患者安全の教育を行う
- ② コンフリクトマネジメント: 患者さんと職員間の対話の仲介(特に有害事象発生後)
- ③ クライシスマネジメント: 重大事故発生後の患者さんあるいは家族への対応、事故の原因調査、明らかな過失が判明した場合の謝罪

業務内容の特徴と実績

医療安全や事故防止活動を展開

医療安全管理室は2001年4月に設置された。2014年度現在、松村由美医師(室長)、飯田恵専従看護師長(GRM)、福村宏美副看護師長、北川綾子副看護師長および医療サービス課医療安全掛事務8名から構成される。河合優美子副看護部長は副室長を兼任している。

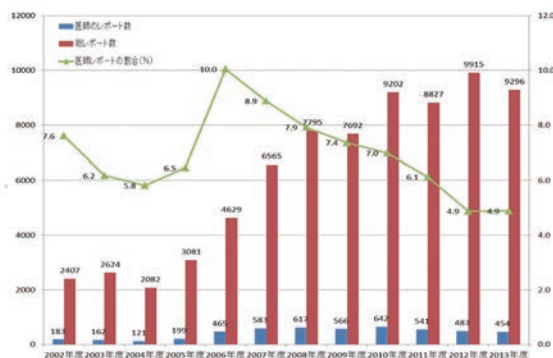
2013年度の実績は次の通りである。インシデントレポート件数9,296件(うち医師から454件)、マニュアル・対応指針の作成(改訂)21件、医療安全に関する院内講習会29件、医療安全情報19回、転倒転落事故防止情報9回配布、調査委員会8件、事例調査報告書(2013年度完成)5件、講演活動23件[感染対策協議会ブロック研修(6月)・京都府看護協会(6・7月)・国際医療リスクマネジメント学会(6・7・1月)・京滋医療安全研究会(7月)・医療安全学会(8月)・大阪赤十字病院・神鋼病院(9月)・高松赤十字病院・大島青松園(10月)・高槻市医師会・大津市・プログラム責任者養成講習会・医学生フォーラム(以上11月)・京都府医師会(1月)・日本病院薬剤師会近畿学術大会・和歌山県立医科大学・日赤和歌山医療センター(2月)・日本手術看護学会京都地区研修会(3月)(以上、松村)・京都府看護協会(6月)・六地藏病院(12月)(辻田)]、学会発表2件[医療の質・安全学会(松村・辻田)]、論文1件[死亡事故後のクライシスマネジメントにおけるパーソンアプローチとシステムズアプローチ間のコンフリクト 医療コンフリクト・マネジメント2: 49-58,2013(松村)]、著書2件[安全管理におけるチーム医療(へるす出版)(松村)・基礎・臨床看護技術(医学書院)(辻田)]、書評1件[ダグ・ヴォイチェサック、ジェームズ・W・サクストン、マギー・M・フィンケルスティーン

著、前田正一監訳、児玉聡、高島響子翻訳「ソーリー・ワークス! 医療紛争をなくすための共感の表明・情報開示・謝罪プログラム」医療事故・紛争対応研究会誌 7:40-43, 2013(松村)

職種別レポート数(2013.4.1~2014.3.31)

看護師	7,918件	85.1%
医師	454件	4.9%
薬剤師	332件	3.6%
管理栄養士	213件	2.3%
放射線技師	128件	1.4%
理学療法士	74件	0.8%
事務職員	48件	0.5%
臨床検査技師	91件	1.0%
臨床工学技士	19件	0.2%
その他	19件	0.2%
計	9,296件	

インシデントレポート数の推移(02~13年度)



地域医療の取り組み

医療安全を広く啓発

京都大学は滋賀医科大学とともに第17回京滋医療安全研究会(2013.7、京都市)を主催した。松村は、京都府看護協会医療安全委員会・京都府医師会医療安全委員会の委員を1年間務めた。

